

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	政策企画監 清水 克典	電話番号	0852-22-6782
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	隣県等との連携の促進事業		
目的	(1) 対象	県	
	(2) 意図	県境を越えて対応すべき課題等について、隣県等で認識を共有し連携・協力体制を築くことにより、課題解決に取り組む。	
事業概要	県境を越えて対応すべき課題等に迅速かつ柔軟に対応するため、中国地方知事会など隣接県等との知事会談や事務レベルでの検討会を開催する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	隣県等との知事会談において、提出された課題に関し共通認識を持つことができた割合	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	共通認識保有課題/会議提出課題	実績値	100.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	500	500
うち一般財源 (千円)	500	500

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基じた現状)

<p>○主な共通認識保有課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生の推進 地方税財源の充実 ミッシングリンクの解消など基盤整備 広域観光の推進や地域産業の振興 広域防災や地域医療の充実 	<p>○主な会議の開催実績 (平成27年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国地方知事会議 H27.5.19 (岡山県岡山市)、H27.11.6 (鳥取県鳥取市) ふるさと知事ネットワーク知事会合 H28.2.11 (東京都港区) 島根・広島交流会議 H27.7.14 (広島県世羅町) 中海会議 H27.11.2 (島根県松江市) 中国圏広域地方計画協議会 H28.2.15 (広島県広島市) ※課長会議等も開催
--	---

6. 成果があったこと (改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 隣県等と会議を開催し、各県やブロックが抱える共通課題について、率直な意見交換を行い、共通認識を持つことが出来ている。 ドクターヘリや防災訓練などでは連携し、実際の取組を進めている。 中国5県で「家畜防疫対策の広域連携に関する協定」を締結(H27.11)し、高病原性鳥インフルエンザ対策の体制等を構築 災害時の公衆衛生活動に係る「相互連携マニュアル」を策定し、中国5県の相互連携体制を構築 中国5県の公設試験研究機関の連携強化として、中国地方所在の県外企業に対する機器使用の割増料金の解消を決定(H28.4~) 海外観光客の誘致強化を図るため、中国地域観光推進協議会に「インバウンド誘致強化委員会」の設置を決定 対流促進型国土の形成に向けて、中国圏における国土の利用や整備、保全を推進するための基本計画「中国圏広域地方計画」を決定(H28.3)

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>・隣県等との連携・協力体制により、課題を的確に把握し、課題解決に取り組むことが出来ている。今後も県境を越えて対応すべき課題に対して知事会談等で意見交換を行い、課題解決に向けた取組を進めていく。</p>

9. 追加評価 (任意記載)

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
